

第35期第6回理事会議事録

日 時：2009年5月28日（木）18時30分～20時30分

会 場：つくば国際会議場小会議室403

出席者：新野、藤谷、石田、岩崎、近藤（裕）、
近藤（豊）、佐藤、里村、田中（博）、中島、
中村、藤部、伊藤、住、三上、安成、山崎、
余田、以上18名（理事現在数26名）

欠席者：中本、赤枝、佐々木、里田、関田、津田、
牧原、山田、以上8名

その他の出席者：林（大会実行委員長）、植田、西森
（大会実行委員）、鈴木（事務局）

議 題

議事に先立ち新野理事長より春季大会を担当した筑波大学、宇宙航空研究開発機構、国立環境研究所、産業技術総合研究所、農業環境技術研究所、防災科学技術研究所に対して感謝の意が表明された。

1. 新型インフルエンザの対応について

理事長より、5月10日に春季大会と第4回日中韓気象学会共催国際会議に関わる新型インフルエンザ対策委員会を立ち上げたこと、各セッションの会場係につくば市内の関係機関の会員にボランティアを依頼したことや懇親会を中止したこと等の春季大会への対応状況、日中韓気象学会共催国際会議を延期したこと等の経緯が報告された。

2. 日本気象学会中長期ビジョンについて

学術委員会より、総会に報告し会員の意見を考慮

して改訂した後、ホームページに掲載することが提案され、了承された。

3. 2009年度総会について

総会資料及び総会参加票について確認した。

4. 2009年度秋季大会、2010年度春季大会の準備状況及び今後の担当機関について

2009年度秋季大会について、実行委員会を立ち上げたことが報告された。また、2011年度春季大会は東大本郷・先端研及び極地研が担当する予定との報告があった。2011年度秋季大会は中部支部の担当とすることを確認した。

5. 各支部からの報告

北海道支部より例年通り研究連絡会等の活動を行っていく予定であることが報告された。

東北支部から秋に気象講演会を開催する予定であることが報告された。

中部支部から2011年度秋季大会の会場について議論を始めたことが報告された。

関西支部より2010年度秋季大会の準備状況について報告があった。また、秋季大会の経費について検討した。

九州支部より4月に気象庁の人事異動に伴い、理事が4名交代となったことが報告された。サイエンスカフェを気象予報士会と共催することが報告された。

6. 地球惑星科学連合の動向について

中島理事より標記について報告があった。また、地球惑星科学連合におけるレギュラーセッションについて検討した。

員会に相談等を行ったこと、並びに、その結果を受けて、定款等の見直し作業に入ることが報告された。

7. 公益社団法人への移行について

支部会計の統合に伴う支部活動強化基金並びに支部独自活動計画に関わる支出計画に関する補正予算を策定中であることが報告された。さらに、新法人移行に際しての社員資格等について、公益認定等委

平成21年6月24日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 石田 純一